

**令和元年産米各施設に出荷始まる  
滝川地区北の米蔵へ初出荷**

J A たきかわでは、9月14日に令和元年産米の受け入れが始まりました。

この日、北の米蔵に初出荷をしたのは赤平市住吉町の株式会社YAMADA、山田昌毅(37)さんの、高度クリーン米ゆめぴりか3・4t。

受入れ時の品位を確認すると、タンパク値も6・3%となっており、低タンパク基準をクリアしたことから、「8月後半からの天候不順によりタンパク値の心配があった、ほ場状況も悪く刈り取り速度が上がらないが、今後の天候回復に期待しながら22haの適期収穫を心掛けたい」と話していました。

施設への初出荷に対して、J A たきかわ山岸専務から、山田さんに激励の言葉と記念品が贈られました。



**芦別地区ばら化施設へ初出荷**

9月16日に芦別ばら化施設に、芦別市上芦別町の櫻田浩生(57)さんの高度クリーン米ゆめぴりかの初出荷があり、J A たきかわ山岸専務から、施設初出荷者として激励の言葉と記念品が贈られました。

櫻田さんは、本日この後も出荷予定となっております。約10tの出荷予定があるとのことでした。「9月10日から順次刈り取りを開始したが、

ほ場状況が悪く作業に苦慮するも、収量はそれなりにありそうなので、今後の天候と稲穂を見ながら適時収穫作業を進める」とのことでした。

高度クリーン米ゆめぴりか約2ha、水稲作付面積は約20haを順次収穫していくこととなっています。



**施設操業状況**

菜種については、7月16日〜7月30日までの受け入れで終了し、小麦については7月15日〜8月18日までの受け入れとなりました。

全地区合計の受け入れ重量については、次の表のとおりとなります。蕎麦につきましては、受け入れが終了しておりますので記載されておりません。

小麦各品種別受入重量

単位/k g

品種/区分	生	半 乾	本 乾	品種合計
春よ恋	249,782.0	0.0	62,109.6	311,891.6
ハルユタカ	172,134.0	0.0	178,533.0	350,667.0
きたほなみ	1,485,689.0	272,691.0	1,098,459.6	2,856,839.6
区分合計	1,907,605.0	272,691.0	1,339,102.2	3,519,398.2

菜種受入重量

単位/k g

区分	生	半 乾	本 乾	合 計
計	311,599.5	24,409.0	147,512.5	483,521.0

**◎北海道の作況概要**

**「やや良」見込み**

北海道における8月15日現在の作柄は「やや良」が見込まれます。

地帯別の作況指数は東北・北陸・東海・近畿・中国が99〜101の「平年並み」、関東・九州及び沖縄が95〜98の「やや不良」が見込まれるものの、田植期以降6月上旬にかけて高温・多照で推移したことや、梅雨明け後はおおむね天候に恵まれることから、全国の作況指数は100の「平年並み」が予想されます。

令和元年産の全国情勢については、全国での主食用作付面積(詳細については9月中旬、農政事務所より公表)は、前年より減少するとして、15都道府県ある一方、増加に転じた平成30年産同程度とする県が32都道府県あるなど、平年作となった場合でも、国の示す適正生産量(718〜726万トン)を上回ることが確実な状況となっております。

また、平成30年産では、一部主産地において主食用米の実作付面積が目安を大幅に超過した経過を踏まえ、本年産の実作付動向、政府備蓄米落札状況等には引き続き注視が必要であり、需要の減少傾向を勘案すると、更なる需給の緩和が想定されます。

ホクレンにおいては今後の府県産価格や作柄により相対価格を勘案し決定される予定となります。